

ウ こんにちは赤ちゃん訪問事業

(1) 事業概要

里帰り訪問の受け入れを含む、概ね4か月児までの乳児がいる家庭を対象に、保健師・助産師・看護師が家庭訪問し、健康状態・生活環境の確認及び社会資源の情報提供を行うなど、切れ目ない子育て支援を行っている。対象家庭のうち、出生通知票の未提出や訪問調整の連絡がつかない場合は、誕生月の翌月・翌々月に勧奨文を発送し、全数訪問に努めている。

保健師・助産師・看護師は、連絡会・研修会・事例検討会を通じ、専門知識・訪問技術の向上を図っている。産婦に対し、「産後うつ」の早期発見と早期支援のためのスクリーニング指標（Ⅰ：育児支援チェックリスト、Ⅱ：EPDS、Ⅲ：赤ちゃんへの気持ち質問票）を活用し、育児不安・育児困難等があれば、地区担当保健師の継続支援につなげている。

(2) 令和4年度実績

表1：訪問内訳（実人数）[単位：件，％]

日 齢	合 計		保健師		助産師・看護師	
	件数	割合	件数	割合	件数	割合
3～4 か月児健診前	1,512	100	210	14	1,302	86
再掲)生後 28 日未満	210	14	54	26	156	74
別掲)未熟児	39	3	25	64	14	36

※訪問率：91％（前年比 5％増）

表2：未訪問内訳 [単位：件，％]

No.	理由	令和2年度		令和3年度		令和4年度	
		件数	割合	件数	割合	件数	割合
	合計	292	100	285	100	150	100
	(再掲)里帰り訪問のみ実施	30	10	22	8	15	10
1	転出	5	2	2	0.7	1	0.6
2	転入	37	13	45	16	32	21
3	入院中	10	3.5	15	5	9	6
4	長期里帰り	61	21	44	15	33	22
5	「必要ない」	47	16	50	18	49	33
6	「都合がつかない」	1	0.5	10	4	2	1
7	「来訪されたくない」	5	2	3	1	5	3
8	「知らない・分からない」			12	4	0	0
9	「コロナが怖い」	111	38	95	33	17	11
10	(※1) その他	4	1	9	3	2	1
11	(※2) 不明	11	4	0	0	0	0

※1 海外居住，他機関支援，連絡の行き違い

※2 3～4か月児健診受診済

表3：未熟児養育医療の給付〔単位：件〕

年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
件数	55	51	41

表4：関係機関連携〔単位：件〕

	令和2年度	令和3年度	令和4年度
医療機関からの連絡票	100	117	112
他自治体からの訪問依頼	23	27	17
他自治体への訪問依頼	58	45	38

(3) 令和4年度の状況

全体としては、訪問率は前年度から5%増加し91%となった。理由としては、コロナ禍の影響が少なくなり、未訪問理由として多かった「コロナが怖いので訪問を控えたい」という人の割合が大きく減少していることがあげられる。